



# 赤麻小だより



令和3年度 第11号

令和3年11月17日

発行：栃木市立赤麻小学校長 印部 稔

【学校教育目標】 あかるい子 かしい子 たくましい子

11月後半に入りました。今年度の11月は例年以上に行事の多い月になっています。9月や10月の初めに行う予定だった行事の多くが11月になった影響です。後半には運動会や修学旅行等の大きな行事がありますが、今号では11月前半に実施された行事等の様子を中心に伝えたいと思います。

## 運動会の全体練習進む

11月20日（土）の運動会に向けて、11月1日（月）から全体練習が始まりました。朝の20分間の「あかまっ子タイム」を活用して全児童が参加して行います。初日の練習は開会式の並び方、位置の確認、退場の仕方等を行いました。全体練習ではその後、紅白リレー、ラジオ体操、全校リレー、開閉開式と入退場、応援合戦等の練習を行っています。これに加え、各ブロックごとの練習がほぼ毎日行われています。暑さよりもむしろ寒さに気を付けなければなりませんが、それでも汗の後始末や水分補給、練習中の休憩等に十分気を付けながら練習していきたいと思えます。体調管理や持ち物の準備等、引き続きご家庭のご協力、よろしくお願い致します。



【練習前にみんなで石拾い】

【開会式の並び方、位置の確認】

【紅白リレーのバトンパス練習】

【応援合戦の練習】

## 学校課題研究の推進（その4）・公開授業研究会（県の発表）終わる

11月5日（金）、栃木県小学校教育研究会算数教育研究大会の公開授業研究会が本校で行われました。昨年からの2年間の研究成果を発表する場です。これまでお知らせしてきたとおり、本来は全県下に呼びかけ、県内各地から多くの先生方が本校に集まったの研究会になるはずでしたが、新型コロナウイルスにより、外部からの参観者は県研究部会長、下都賀地区部会長、次回の発表校の担当者、指導の先生2名（下都賀教育事務所、栃木市教育委員会より1名ずつ）の合計5名の先生方のみとなりました。研究主題『「わかる！」「できる！」を楽しみながら、考え表現する力を高める授業の創造～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善を通して～』に基づき、4年生、6年生の算数の授業を公開しました。



【4年生の授業と研究協議】



【6年生の授業と研究協議】



授業後、4年生と6年生の2班に分かれての研究協議を行った後、全体会で協議の内容を発表し合い、成果と課題を確認することができました。研究主題を達成するために、「焦点化」「視覚化」「共有化」のユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導の工夫がなされ、それによって子どもたちが楽しく、そして一生懸命に授業に取り組んでいたことが成果として確認されました。また、振り返りのさらなる工夫等の課題も確認されました。この研究の内容は、この後、赤麻小のホームページに発表用のデータの形で公表する予定です。この研究を生かし、今後もさらに算数はもちろん他の教科でも「わかる！」「できる！」授業を目指して授業改善に取り組んでいきます。

## 1. 2年生が校外学習を実施

11月9日(火)、1、2年生が宇都宮動物園への校外学習に行ってきました。残念なことに、雨の中での校外学習になってしまいましたが、動物園見学、乗り物に乗る、買い物等の活動に行ってきました。朝から雨だったため、がっかりしているかと思いきや、子どもたちは元気いっぱい、とても元気なあいさつをして学校を出発していきました。特に1年生は初めての本格的な校外学習のためか特にうれしそうでした。帰校時は1年生も2年生もみな疲れた様子でしたが、振り返りでは「雨だったけど楽しかった」という感想が多く書かれていました。雨の中の校外学習は、かえって忘れられない思い出になるかも知れませんね。また、1年生は「2年生が優しく注意してくれた。2年生になったらわたしもそうになりたい。」という感想を書いている子が多くいました。2年生が頼もしかったようですね。



## 4年生の宿泊学習終わる

4年生が11月10日(水)、11日(木)に太平少年自然の家での宿泊学習を行いました。一泊二日で行いました。一日目は大中寺の七不思議等を見学後、山を登って太平山神社まで歩き、参拝しました。その後、太平少年自然の家まで歩いて、お昼過ぎに自然の家に到着しました(昼食は謙信平からの素晴らしい景色を眺めながら、太平山の名物をいただきました)。

自然の家では杉板焼き、ナイトハイキングを一日目に行い、二日目はウォークラリーを行いました。杉板焼きでは煙が目にしみて涙を流したり、板のすずをマスクを真っ黒にしながら削り取ったりして、全員がきれいな焦げ茶色の杉板焼きを作ることができました。この後板に絵等を描いて完成させます。完成した作品は2月の授業参観で展示しますのでご覧ください。ナイトハイキングでは、赤麻小の先生方が学校での仕事を終えた後にたくさん駆けつけ、子どもたちを楽しませてくれました。二日目のウォークラリーでは、予想をかなり上回る時間を要し、昼食の時間を変更したほどでしたが、何とか全班ゴールすることができました。

帰校後子どもたちに聞いてみると3つの大きな目標のうち、「自分で考えて行動する」は達成できたと感じた子が少なかったようですが、「友達と協力する」「自然の素晴らしさを味わう」の二つはほとんどの子が達成できたと振り返りました。全体的な感想でも「班のみんなと協力できて楽しかった」と書いた子が多く見られました。来年度もう一度宿泊学習がありますので、今回の経験を生かし、よりよい宿泊学習にしてもらいたいと思います。

多少風が強かったものの、2日間とも天候に恵まれ、怪我や体調不良もなく、全員元気に返ってこられたことが素晴らしく、4年生にとってもよい思い出になったことと思います。事前の様々な準備等ご協力をいただき、保護者の皆様ありがとうございました。



【大中寺七不思議の説明】

【大中寺からの山登り】

【壮大な景色を見ながら昼食】

【杉板焼き】

【ウォークラリー】

## 今年も2022・とちぎ国体の応援旗を作成

昨年に続き、今年も「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会栃木市実行委員会」からの依頼により、市内全小中学校が「手作り応援のぼり旗」を作成しています。本校には山口県、京都府、兵庫県の3府県が割り当てられました。6年生が山口県と京都府の応援旗を作り終えました。5年生は作製中です。この「手作り応援のぼり旗」は大会で掲げられます。



【6年・山口県チーム】



【6年・京都府チーム】